桑幡文書

【所　在　地】鹿児島市城山町７－２　県歴史資料センター黎明館他（個人所有）
【種　　別】県指定有形文化財（書跡）
【指定年月日】昭和 29 年３月 15 日

右近衛府牒

桑幡家相伝の古文書。同文書は（1）安元元（1175）年の右近衛府牒，同３（1177）年の同政所下文の２通の原文書，（2）中世初頭，文治３（1187）年から建武４（1337）年に至る８通の下文・下知状等の文書写１巻からなる。

桑幡氏は，古代後期から中世にかけて，現在の大口市一帯と推定される牛屎院を支配した豪族牛屎郡司の子孫で，近世に至って桑幡と改姓した。（1），（2）及び同系統の文書とあわせ見ることにより南九州の古代末から中世までの歴史を知るうえで貴重な資料である。

（1）の原文書２点は，現在県歴史資料センター黎明館に寄託されている。